

一般社団法人 日本菌学会 第 62 回大会（信州）プログラム

主催：一般社団法人 日本菌学会
一般社団法人 日本菌学会 会長 山岡 裕一
一般社団法人 日本菌学会 第 62 回大会会長 福田 正樹（信州大学農学部）

共催：国立大学法人 信州大学（農学部）

期日：2018 年 5 月 25 日（金）～5 月 27 日（日）

会場：信州大学伊那キャンパス（農学部） F 棟（総合実験実習棟）および講義棟
〒399-4598 長野県上伊那郡南箕輪村 8304
<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/agriculture/>

大会事務局：〒399-4598 長野県上伊那郡南箕輪村 8304 信州大学農学部
応用真菌学研究室内 日本菌学会第 62 回大会実行委員会事務局
山田 明義
E-mail: msjmeeting62@mycology-jp.org akiyosh@shinshu-u.ac.jp
TEL: 0265-77-1631; FAX: 0265-77-1629

日 程

5 月 25 日（金）

9:00 - 11:00	編集委員会	ゆりの木 研修室
12:00 - 15:00	理事会	ゆりの木 研修室
15:00 - 17:00	総会	ゆりの木 研修室
19:00 - 20:30	役員合同懇親会	生協食堂

5 月 26 日（土）

8:00 -	受付・登録	F 棟（総合実験実習棟）1F
9:00 - 10:00	会員説明会	F 棟（総合実験実習棟）2F
10:00 - 11:00	授賞式, 受賞講演	F 棟（総合実験実習棟）2F
11:00 - 12:00	中高生ポスター発表	講義棟 展示会場（1F）
13:00 - 15:30	日韓合同シンポジウム	F 棟（総合実験実習棟）2F
15:35 - 15:50	中高生ポスター発表表彰式	F 棟（総合実験実習棟）2F
16:00 - 17:00	一般口頭発表	講義棟 A, B, C 会場（2F）
18:15 - 20:30	懇親会	伊那セミナーハウス

5 月 27 日（日）

8:00 -	受付・登録	講義棟 大会受付（1F）
9:00 - 10:30	一般口頭発表	講義棟 A, B, C 会場（2F）
10:45 - 12:15	一般ポスター発表コアタイム	講義棟 一般ポスター会場（1F）
13:00 - 15:45	一般口頭発表	講義棟 A, B, C 会場（2F）
16:00 - 16:15	学生口頭発表表彰式・閉会式	講義棟 C 会場（2F）

大会案内

1. 受付

- ・事前登録参加者, 当日参加者, 招待参加者, いずれの方も必ず受付で手続きください。
- ・受付は, 5月26日(土) 8:00 から, 信州大学農学部 F 棟 (総合実験実習棟) 入口にて行います。
- ・当日参加費は以下の通りです。
 - ・大会参加費 (講演要旨集代を含む)
通常会員 8,000 円
学生会員 6,000 円
非会員 9,000 円
 - ・懇親会参加費
通常会員および非会員 7,000 円
学生会員 5,000 円
 - ・講演要旨集の追加購入 1部 2,000 円

2. 名札

- ・領収書兼用の名札は当日, 受付でお受け取りください。事前申し込みを頂いた方は講演要旨集と一緒に事前に送付いたします。

3. 一般講演

(口頭発表)

- ・口頭発表の持ち時間は 15 分 (12 分発表, 3 分討論) です。
- ・発表には, 実行委員会が会場に用意する Windows パソコンを用いていただきます。発表用のファイルは MS PowerPoint で動作するように作成してください。ファイル名は, 講演番号+氏名としてください。
- ・5月26日午後の発表者は同日 12:00~13:00 時の間に, 27日午前中の発表者は同日 8:00~9:00 の間に, 午後の発表者は同日 12:00~13:00 時の間に, それぞれプレゼン用のファイルをパソコンにコピーしてください。
- ・講演中のパソコン操作は演者自身でお願いします。講演に用いたファイルは, 講演後, 実行委員会側で責任をもってパソコンから消去します。

(ポスター発表)

- ・ポスターは縦長で, 縦 180cm×横 90cm のパネルに収まるように作製してください。
- ・ポスター会場は, 5月26日(土), 27日(日)ともに 9:00 開場, 17:00 閉場です。
- ・発表者は, 26日(土) 10:00 までに, 所定発表番号のパネルにポスターを掲示してください。発表コアタイムは, 27日(日) 10:45

~12:15 です (奇数番号ポスター10:45~11:30; 偶数番号ポスター11:30~12:15)。発表コアタイムには, ポスター前に立ってご発表ください。

- ・ポスターは 27日(日) 16:00 までに撤去してください。

4. 昼食

- ・事前にお申し込みいただいた方に, 受付にてお弁当をお渡しします。その他にお弁当の販売はいたしません。昼食は各自でお取り下さい。
- ・学内の生協食堂は週末閉店しています。学外にレストラン, スーパーマーケットがありますので, そちらをご利用ください。
- ・会場内は, 休憩室のほか, 生協食堂前の広場で飲食いただけます。

5. 休憩室

- ・講義棟 1F および 2F に休憩室を設けますので, 休憩や飲食などにご利用ください。

6. 懇親会

- ・会場は, 信州 INA セミナーハウスです (<http://www.seminarhouse.jp/eastarena/>)。26日(土) 17:15 より, 大会会場 (農学部, 講義棟前) から送迎バスを運行します。参加者は農学部講義棟前のロータリーへ 17:15 までにお集り下さい。懇親会終了後は, JR 伊那市駅経由で農学部構内行きのバスを運行します。
- ・自家用車で懇親会会場へ移動することも可能です (駐車場は無料)。

7. 喫煙

- ・キャンパス内は, 建物内も含めて全面禁煙です。ご注意ください。

8. アマチュア展示

- ・講義棟 1F にて行います。
- ・各地のアマチュアの会および個人による活動報告や研究発表の展示を行います。また, 菌学会関連・菌学関連の他団体の展示もあります。

9. 企業展示等

- ・講義棟 1F にて行います。

10. 学生優秀口頭発表賞

- ・菌学会学生会員の優秀発表者に対して、大会会長名で賞を授与いたします。
- ・賞の授与式は、講義棟C会場(2F)にて、5月27日(日)16:00~16:15に行います。受賞者名は、27日(日)15:50までに受付に掲示します。確認の上、授賞式にご出席願います。

11. 中高校生ポスター

- ・発表コアタイムは、5月26日(土)11:00~12:00です。
- ・優秀なポスター発表に対して、大会から賞を授与いたします。
- ・ポスター賞の授与式は、26日(土)15:35より行います。受賞者は、26日(土)14:00までに受付に掲示します。確認の上、授賞式にご出席願います。

■ 大会実行委員会

会長	福田 正樹	信州大学 農学部
事務局	山田 明義	信州大学 農学部 (菌学会国内集会担当理事)
委員	千 菊夫	信州大学 農学部
委員	齋藤 勝晴	信州大学 農学部
委員	今津 道夫	信州大学 全学教育機構
委員	出川 洋介	筑波大学 山岳科学センター菅平高原実験所 (菌学会国際集会担当理事)
委員	名部 みち代	大阪市立自然史博物館 (菌学会国内集会担当理事)
委員	小林 久泰	茨城県林業技術センター (菌学会国内集会担当幹事)
委員	遠藤 直樹	鳥取大学 農学部附属菌類きのこ遺伝資源研究センター (菌学会国内集会担当幹事)
委員	増野 和彦	長野県林業総合センター
委員	古川 仁	長野県林業総合センター
委員	片桐 一弘	長野県林業総合センター
委員	加藤 健一	長野県林業総合センター
委員	山本 秀樹	長野県野菜花き試験場
委員	風間 宏	長野県野菜花き試験場
委員	赤羽 弘文	長野県野菜花き試験場
委員	芳川 諒	長野県野菜花き試験場
委員	小山 智行	長野県農業技術課
委員	西澤 賢一	長野県農村工業研究所
委員	宮尾 淳一	長野県農村工業研究所
委員	城石 雅弘	長野県農村工業研究所
委員	立川 俊良	長野県農村工業研究所
委員	大久保 正宏	長野県農村工業研究所
委員	清水 宏幸	長野県農村工業研究所
委員	中村 美晴	長野県農村工業研究所

一般社団法人日本菌学会 第62回大会（信州） 講演プログラム

5月26日（土）信州大学農学部 F棟（総合実験実習棟）30番教室

時刻	講演等内容
9:00	会員集会
10:00	各種授与式・受賞者講演 座長 山岡 裕一（筑波大学 生命環境系） 受賞講演（奨励賞） Geastrum 属菌を主とした海浜生担子菌きのこ類の分類・系統学的研究 糟谷 大河（千葉科学大学 危機管理学部）
11:00	（中高生ポスター発表 → 講義棟 展示会場）
12:00	（昼 食）
13:00	日本菌学会－韓国菌学会 合同シンポジウム（F棟2F, 30番教室） MSJ-KSM Joint Symposium Congratulatory message by President of MSJ, Prof. Yuichi Yamaoka Congratulatory message by President of KSM, Prof. Ki Deok Kim
13:05	Chairman: Prof. Tsutomu Hattori (MSJ) S-1: Prof. In-Geol CHOI (KSM) FunGAP: Fungal Genome Annotation Pipeline for High-Quality Fungal Genome Analysis by Byoungnam Min, Hongjae Park, and In-Geol Choi (Department of Biotechnology, College of Life Sciences and Biotechnology, Korea University, Seoul 02841, Korea)
13:30	Chairman: Prof. Hyang-Burm Lee (KSM) S-2: Dr. Akira HASHIMOTO (MSJ) A new approach to the systematics of ascomycetes based on complete life cycle Akira Hashimoto (Japan Collection of Microorganisms, RIKEN BioResource Center)
13:55	Chairman: Prof. Tsutomu Hattori (MSJ) S-3: Prof. Jungkwan LEE (KSM) Cooperative interaction between <i>Fusarium graminearum</i> and <i>Burkholderia glumae</i> on rice by Jungkwan Lee (Department of Applied Biology, Dong-A University, Busan, 49315, Korea)
14:20	Coffee Break
14:35	Chairman: Prof. Hyang-Burm Lee S-4: Dr. Munemasa TERAMOTO (MSJ) Study on translocation of ¹⁴ C absorbed as amino acids in extraradical mycelium of ectomycorrhizal symbiosis by M. Teramoto ^{1,2)} , B. Wu ²⁾ , T. Hogetsu ²⁾ (¹⁾ Natl. Inst. Environ. Studies; ²⁾ Grad. Sch. of Agric. Life Sci., Univ. Tokyo)
15:00	Chairman: Prof. Tsutomu Hattori (MSJ) S-5: Dr. Seung-Yoon OH (KSM) Ecology of microbial interactions between <i>Tricholoma matsutake</i> and bacteria by S.-Y. Oh, Y. W. Lim (Seoul Nat'l. Univ.)
15:25	Closing remarks by Vice-President of MSJ, Prof. Takashi Yaguchi
15:35	中高生ポスター発表賞 表彰式

5月26日（土）信州大学農学部 講義棟

時刻	講演内容		
	展示会場		
11:00	中高P-1	染料用キノコの研究 ○藤井美優・田村優弥・福島夢菜（群馬県立勢多農林高等学校）	
	中高P-2	神奈川県および東京都のフウリタケ型菌類 宮井勇季・吉田明寛・山西龍大・○天野海音・宮脇一喜（大阪府立園芸高等学校）	
	中高P-3	植物内生菌と宿主植物との相互関係 ○大矢朱莉（茗溪学園高等学校）	
	中高P-4	変形菌アメーバの成長量と動きに関する研究 ○宮本茉奈 ¹⁾ ・宮本真理子 ¹⁾ ・田留健介 ²⁾ （ ¹⁾ 埼玉県さいたま市； ²⁾ 埼玉県自然学習センター）	
	中高P-5	粘菌の記憶と結合時の原形質共有の関係を観察するための着色実験 ○荒谷寧音・○前田彩乃・○間嶋知葉・○山本萌加（高松第一高校）	
	中高P-6	Phaneroplasmidiumにおける寒天培地の水分量の違いによる変形体の網目の構造の変化 ○後藤伶暢（開成中学校）	
	中高P-7	イタモジホコリの胞子の発芽条件 ○佐藤菜月（筑波大附属坂戸高校） （表彰式 → 15:35～, F棟2F, 30番教室）	
	A 会場	B 会場	C 会場
	（座長：小長谷 啓介）		
	（座長：糟谷 大河）		
	（座長：中桐 昭）		
16:00	A-1 里山（アベマキコナラ林）における変形菌類相の調査 ○奥藤李子 ¹⁾ ・松本淳 ²⁾ ・都野展子 ¹⁾ （ ¹⁾ 金沢大学； ²⁾ 越前町立福井総合植物園）	B-1 ホウキタケ <i>Ramaria botrytis</i> およびその類縁菌の系統分類 ○安藤洋子 ¹⁾ ・Josef Christan ²⁾ （ ¹⁾ 菌類懇話会； ²⁾ Psychiatrischen Klinik des Klinikums der LMU）	C-1 日本産Peronospora科の分子系統学的研究 ○川口真穂 ¹⁾ ・中島千晴 ¹⁾ （ ¹⁾ 三重大院生資）
16:15	A-2 アルカリ土壌の林床における尿素処理の効果 ○深山寛人 ¹⁾ ・福田達哉 ^{1,2)} ・伊野航 ²⁾ ・萩谷宏 ^{1,2)} ・安井万奈 ³⁾ ・鈴木彰 ²⁾ （ ¹⁾ 東京都市大・院・環境情報； ²⁾ 東京都市大・知識工； ³⁾ 早稲田大・理工）	B-2 稀産トリュフ型担子菌、「ニカワショウロ」の実体 ○折原貴道 ¹⁾ ・保坂健太郎 ²⁾ ・川口泰史 ³⁾ （ ¹⁾ 神奈川県博； ²⁾ 国立科博； ³⁾ 菌懇会）	C-2 日本産の <i>Rhizidiomyces</i> 属（サカゲツボカビ門）について ○稲葉重樹（NBRC）
16:30	A-3 南北両極氷床コアに眠る菌類の分離 ○辻雅晴 ¹⁾ ・中澤文男 ^{1,2)} ・伊村智 ^{1,2)} （ ¹⁾ 極地研； ²⁾ 総研大）	B-3 日本産カノシタ属（ <i>Hydnum</i> ）の分類学的再検討 ○菅原遼 ¹⁾ ・早乙女梢 ¹⁾ ・中桐昭 ¹⁾ ・前川二太郎 ¹⁾ ・山田明義 ²⁾ ・遠藤直樹 ¹⁾ （ ¹⁾ 鳥取大・農； ²⁾ 信州大・農）	C-3 <i>Pythium</i> 属菌分子系統クレードJに属する造卵器にとげを持つ種の識別 ○山田健介 ¹⁾ ・須賀晴久 ²⁾ ・景山幸二 ¹⁾ （ ¹⁾ 岐大流域研セ； ²⁾ 岐大生命セ）
16:45	A-4 Population genetics analysis on <i>Pythium aphanidermatum</i> revealing the source of infection ○Auliana Afandi ¹⁾ ・Chasuna Borjigen ²⁾ ・Kayako Otsubo ²⁾ ・Ayaka Hieno ²⁾ ・Haruhisa Suga ³⁾ ・Koji Kageyama ²⁾ （ ¹⁾ UGSAS Gifu Univ.； ²⁾ RBRC Gifu Univ.； ³⁾ LSRC Gifu Univ.）	B-4 キクイムシの坑道に生息する日本産“ <i>Gloeocystidium ipidophilum</i> ”の分類学的検討 ○荒木健佑 ¹⁾ ・山岡裕一 ²⁾ ・的崎利規 ³⁾ ・前川二太郎 ⁴⁾ ・中桐昭 ⁴⁾ ・早乙女梢 ⁴⁾ （ ¹⁾ 鳥取大院持続社会； ²⁾ 筑波大生命環境； ³⁾ 鳥取大院連農； ⁴⁾ 鳥取大農）	C-4 珪藻寄生性ツボカビ <i>Zygorhizidium planktonicum</i> の分類学的再検討 ○瀬戸健介 ¹⁾ ・Silke Van den Wyngaert ²⁾ ・出川洋介 ³⁾ ・鏡味麻衣子 ¹⁾ （ ¹⁾ 東邦大学； ²⁾ IGB-Berlin； ³⁾ 筑波大・MSC菅平）

5月27日（日）午前 信州大学農学部 講義棟

時刻	講演内容		
	A 会場 (座長：岡根 泉)	B 会場 (座長：折原 貴道)	C 会場 (座長：出川 洋介)
9 : 00	A-5 本邦の森林土壌に分布する <i>Aspergillus fumigatus</i> の系統地理学的パターン ○広瀬大 ¹⁾ ・岩崎貴也 ²⁾ ・永野惇 ³⁾ ・矢口貴志 ⁴⁾ (1) 日本大薬 ; 2) 神奈川大理 ; 3) 龍谷大農 ; 4) 千葉大真菌セ)	B-5 <i>Corioloopsis aspera</i> と類似種の分類学的研究 ○的崎利規 ¹⁾ ・服部力 ²⁾ ・中桐昭 ³⁾ ・前川二太郎 ³⁾ ・遠藤直樹 ³⁾ ・早乙女梢 ³⁾ (1) 鳥取大・院連農 ; 2) 森林総研 ; 3) 鳥取大・農)	C-5 チラカゲロウ(チラカゲロウ科) 幼虫の後腸より得られた <i>Ephemerellomyces</i> 属(ハルペラ目) の1種について ○佐藤大樹(森林総研)
9 : 15	A-6 Comparative analysis of soil fungal communities in <i>Pinus koraiensis</i> and <i>Quercus serrata</i> forests in South Korea ○ Ki Hyeong Park ¹⁾ ・Seung Yoon Oh ¹⁾ ・Namhwi Kim ¹⁾ ・Sang-Kuk Han ²⁾ ・Young Woon Lim ¹⁾ (1) Seoul National University ; 2) Korea National Arboretum)	B-6 日本産ハルシメジ類の分類学的再検討 ○宍倉愛実 ¹⁾ ・竹村圭弘 ¹⁾ ・早乙女梢 ¹⁾ ・中桐 昭 ¹⁾ ・前川二太郎 ¹⁾ ・山田明義 ²⁾ ・遠藤直樹 ¹⁾ (1) 鳥取大・農 ; 2) 信州大・農)	C-6 <i>Euwallacea</i> 属菌養性キクイムシと共生する数種の <i>Fusarium</i> 属菌の形態的比較 ○青木孝之 ¹⁾ ・M.T. Kasson ²⁾ ・S. Freeman ³⁾ ・D. Geiser ⁴⁾ ・K. O' Donnell ⁵⁾ (1) 農研機構遺伝資源セ ; 2) ウェストバージニア大 ; 3) ARO, Volcani Center ; 4) ペンシルベニア州立大 ; 5) NCAUR, USDA-ARS)
9 : 30	A-7 マイクロサテライト解析によるトルコギョウ水耕栽培施設における <i>Pythium irregulare</i> の侵入経路の解明 守田航馬 ¹⁾ ・大坪佳代子 ¹⁾ ・ ○日恵野綾香 ¹⁾ ・佐藤衛 ²⁾ ・須賀晴久 ³⁾ ・景山幸二 ¹⁾ (1) 岐大流域研セ ; 2) 農研機構野花研 ; 3) 岐大生命セ)	B-7 日本産タマゴタケの分類学的再検討 ○古平美友紀 ¹⁾ ・遠藤直樹 ²⁾ ・福田正樹 ¹⁾ ・山田明義 ¹⁾ (1) 信州大院農 ; 2) 鳥取大)	C-7 小笠原諸島産植物寄生性 <i>Diaporthe</i> 属菌の多様性 ○藁島綾華 ¹⁾ ・小野剛 ²⁾ ・佐藤豊三 ³⁾ ・宮田穂波 ¹⁾ ・小谷優奈 ¹⁾ ・廣岡裕吏 ¹⁾ (1) 法政大植物医科 ; 2) 東京小笠原農セ ; 3) 農研機構遺資セ)
	(座長：升屋 勇人)	(座長：牛島 秀爾)	(座長：橋本 陽)
9 : 45	A-8 浴室のカビ <i>Ochroconis humicola</i> のルーツを求めて ○浜田信夫(大阪市立自然史博物館)	B-8 <i>Amanita</i> 属における外生菌根形態および培養特性の分類学的意義 ○遠藤直樹 ¹⁾ ・長田茉莉 ¹⁾ ・古平美友紀 ²⁾ ・松下範久 ³⁾ ・山田明義 ²⁾ ・早乙女梢 ¹⁾ ・中桐昭 ¹⁾ ・前川二太郎 ¹⁾ (1) 鳥取大・農 ; 2) 信州大・農 ; 3) 東大院・農)	C-8 ヒノキ科に寄生する日本産 <i>Phyllosticta</i> 属菌の分類学的研究 ○服部友香子 ¹⁾ ・中島千晴 ²⁾ ・本橋慶一 ³⁾ (1) 三重大院生資 ; 2) 三重大生資 ; 3) 東農大開発)

5月27日（日）午前 信州大学農学部 講義棟

時刻	講演内容		
	A 会場	B 会場	C 会場
10:00	A-9 北海道における複数種のトネリコ属複葉内の <i>Hymenoscyphus fraxineus</i> の挙動 ○加藤早織 ¹ ・岡根泉 ¹ ・玉井裕 ² ・山口岳広 ³ ・石賀康博 ¹ ・山岡裕一 ¹ (¹ 筑波大生命環境； ² 北大農； ³ 森林総研北海道)	B-9 Taxonomic re-evaluation of <i>Laccaria</i> (Agaricales, Basidiomycota) in Korea based on morphological and molecular evidence ○Hae Jin Cho ¹ ・Myung Soo Park ¹ ・Hyun Lee ¹ ・Seung-Yoon Oh ¹ ・Andrew W. Wilson ² ・Gregory M. Mueller ³ ・Young Woon Lim ¹ (¹ Seoul National Univ.; ² Denver Botanic Gardens.; ³ Chicago Botanic Garden)	C-9 科博収蔵標本を用いたシロヒナノチャワンタケ科（ビョウタケ目）の2属の単系統性の再検討 ○栃原行人 ¹ ・細矢剛 ² (¹ 東大・院・理, ² 科博・植物)
10:15	A-10 <i>Podosphaera leucotrichal</i> によるモモうどんこ病のリンゴ樹からの伝染 ○横澤志織・江口直樹（長野果樹試）	B-10 小笠原諸島の父島と母島では菌類相が異なるのか？ ○保坂健太郎 ¹ ・南京沃 ¹ ・高星千恵美 ¹ (¹ 国立科博)	C-10 日本産 <i>Chlorociboria</i> 属種の分類学的研究 ○平田喜子 ¹ ・遠藤直樹 ² ・早乙女梢 ² ・中桐昭 ² ・前川二太郎 ² (¹ 鳥取大院持続社会； ² 鳥取大農)
一般ポスター会場			
10:45	<p>P-1 不完全菌類<i>Aenigmatospora</i>属の分類学的検討 ○出川洋介¹・田中直歩²・升本宙¹・瀬戸健介³ (¹筑波大菅平；²東京都杉並区；³東邦大)</p> <p>P-2 日本産ボタタケ科菌類<i>Sphaerostilbella</i>および<i>Hypomyces</i>属菌2種 ○常盤俊之¹・廣岡裕史²・広瀬大³・野中健一¹・岡田元⁴ (¹北里大学北里生命科学研究所；²法政大学生命科学部；³日本大学薬学部；⁴理化学研究所バイオリソースセンター)</p> <p>P-3 コメツキムシ科を宿主とする<i>Metarhizium</i>属の1種の完全世代 ○山本航平（栃木県立博物館）</p> <p>P-4 ウルシ枝から分離されたグノモニア科菌類の未記載属 ○安藤裕萌・升屋勇人・田端雅進（森林総研東北）</p> <p>P-5 <i>Aspergillus</i> section <i>Fumigati</i>の分子系統解析と3新種について ○松澤哲宏¹・矢口貴志²・Galba M. Campos Takaki³・Kaoru Okada³・Paride Abliz⁴・堀江義一² (¹長崎県立大；²千葉大；³カトリック大, ブラジル；⁴新疆医大, 中国)</p> <p>P-6 国内の薬用植物から分離された植物病原菌類 ○佐藤豊三¹・古平栄一²・高橋好範³・利根川千枝⁴・本澤克幸⁴・五十嵐元子⁵・飯田修⁵・菱田敦之⁵・川原信夫⁵・廣岡裕史⁴・一木(植原)珠樹¹ (¹農研機構遺資セ；²武田薬品京都薬植園（現在：北里大薬植園）；³岩手農研セ県北農研；⁴法政大植物医科；⁵医薬健栄研薬植セ)</p> <p>P-7 コヤブニッケイ角もち病（新称提案中）菌の同定 ○柴田紗帆¹・小野剛²・宮川五葉³・向哲嗣³・市岡洋三³・竹中泉³・柿寫眞⁴・堀江博道¹・廣岡裕史¹ (¹法政大学植物医科；²東京小笠原農セ；³東京都小笠原支庁；⁴吉林農業大学)</p> <p>P-8 Rust fungi (Pucciniales) found on previously unrecorded host plants in Thailand ○Yoshitaka Ono¹・Chanjira Ayawong²・Jintana Unartngam²・Izumi Okane³ (¹Ibaraki Univ.; ²Kasetsart Univ. Kamphaeng Saen；³Univ. Tsukuba)</p> <p>P-9 ユウガギクおよびノコンギクを宿主とする<i>Thekopsora</i>属菌について ○藤森祥平¹・岡根泉¹・小野義隆²・山岡裕一¹ (¹筑波大生命環境；²茨城大教育)</p> <p>P-10 日本産モミタケの分類学的再検討 ○糟谷大河¹・高井雅季¹・保坂健太郎² (¹千葉科学大危機管理；²国立科博)</p>		

5月27日（日）午前 信州大学農学部 講義棟

時刻	講演内容
	一般ポスター会場
10:45	<p>P-11 東京都及び近郊から採集されたカサに赤味を帯びる3種のシロカラカサタケ属菌について ○丸山厚吉・村上哲明（首都大学東京牧野標本館）</p> <p>P-12 日本で採取されたフウセンタケ属きのこの日本新産種2種について ○宮内信之助（宮内環境研）</p> <p>P-13 コウヤクタケ型きのこ <i>Dendrothele arachispora</i> の日本における最初の報告 ○牛島秀爾¹⁾・前川二太郎²⁾（¹⁾菌蕈研究所；²⁾鳥取大農）</p> <p>P-14 東京大学千葉演習林で発見された <i>Coprinopsis</i> 属（ナヨタケ科）の未知1種 ○吹春俊光¹⁾・P. Thao NGUYEN²⁾・清水公德²⁾（¹⁾千葉中央博；²⁾東京理科大）</p> <p>P-15 日本新産の <i>Polyporus ciliatus</i> について（新称：エゾノアミスギタケ タマチョレイタケ目タマチョレイタケ科） ○早乙女梢¹⁾・桑原知弘¹⁾・的崎利規²⁾・服部力³⁾・前川二太郎¹⁾・中桐昭¹⁾・遠藤直樹¹⁾（¹⁾鳥取大・農；²⁾鳥取大・院連農；³⁾森林総研）</p> <p>P-16 シメジ科菌類の培養菌糸体が形成する分節型分生子の分類形質としての評価 ○前川二太郎・奥田雄大・遠藤直樹・早乙女梢・中桐昭（鳥取大農）</p> <p>P-17 青木実菌類資料の研究 ○名部みち代¹⁾・森本繁雄¹⁾・大久保泰和²⁾・齋木達也²⁾・佐久間大輔¹⁾（¹⁾大阪市立自然史博物館；²⁾関西菌類談話会）</p> <p>P-18 菌類コレクションはどのようにして形成されるか -採集者の多様性- 佐久間大輔（大阪市立自然史博物館）</p> <p>P-19 茨城県内の廃坑におけるマエモンオオナミシャクの成虫に生じた <i>Cordyceps</i> 属菌の同定とその子実体の動態 ○坂井翔希¹⁾・菊池芳文¹⁾・保坂健太郎²⁾・糟谷大河¹⁾（¹⁾千葉科学大危機管理；²⁾国立科博）</p> <p>P-20 マツノマダラカミキリ鞘翅における黒変の正体 ○升屋勇人・相川拓也・安藤裕萌・前原紀敏（森林総研東北）</p> <p>P-21 Plant Growth Promoting Activity by Endophytes from steep slope site in Kyung Sang Province, Korea ○D. H. Choi・H. J. Kwon・M. G. Kim・N. Y. Lee・J.-G. Kim (Kyungpook University, Korea)</p> <p>P-22 メロンうどんこ病菌単一菌叢あたりの生涯分生子生産数の測定 ○野々村照雄¹⁾・中村亮介¹⁾・瀧川義浩²⁾・角谷晃司³⁾・松田克礼¹⁾（¹⁾近畿大農；²⁾近畿大先端技術総研；³⁾近畿大薬総研）</p> <p>P-23 アミガサタケ (<i>Morchella esculenta</i> (L.) Pers. sensu lato) の栄養様式に関する研究 ○林智絵¹⁾・鈴木彰^{1,2)}（¹⁾放送大学・教養学部；²⁾東京都市大学・知識工学部）</p> <p>P-24 屋久島のヤクタネゴヨウ人工林における外生菌根菌の埋土孢子群集 ○村田政穂・杉山賢子・奈良一秀（東大新領域）</p> <p>P-25 菌根から分離された細菌がキツネタケの子実体発生に及ぼす影響 ○小長谷啓介（森林総研）</p> <p>P-26 リアルタイムPCR法によるバカマツタケ <i>Tricholoma bakamatsutake</i> の検出 ○今治安弥¹⁾・河合昌孝¹⁾・山田明義²⁾・木下晃彦³⁾（¹⁾奈良森技セ；²⁾信州大学；³⁾森林総研）</p> <p>P-27 京都市の復元型ビオトープ「いのちの森」におけるイボセイヨウショウロの分布と消長 ○下野義人¹⁾・大藪崇司²⁾・北出雄生³⁾・折原貴道⁴⁾・松田陽介¹⁾・岩瀬剛二⁵⁾（¹⁾三重大；²⁾兵庫県立大；³⁾京都大；⁴⁾神奈川県博；⁵⁾帝京科学大）</p> <p>P-28 トドマツ幹・地表部根系の林業機械損傷による腐朽部位から分離された担子菌類 ○山口岳広（森林総研北海道）</p> <p>P-29 海浜性 <i>Marasmiellus</i> が好む寄主の条件 ○和田匠平（神戸学院大学附属高等学校）</p>

時刻	講演内容
	一般ポスター会場
10:45	<p>P-30 ヨツバムグラに寄生する<i>Aecidium</i>属さび菌の生活環 ○鈴木浩之・山岡裕一・岡根泉（筑波大生命環境系）</p> <p>P-31 アーバスキュラー菌根菌<i>Rhizophagus clarus</i> HR1株の新規ゲノム解読による絶対共生性の分子基盤の解明 ○小林裕樹^{1,2)}・前田太郎^{1,2)}・山口勝司¹⁾・亀岡啓^{1,2)}・田中幸子^{1,2)}・江沢辰広^{2,3)}・重信秀治^{1,4)}・川口正代司^{1,2,4)}（¹⁾ 基生研；²⁾JST ACCEL；³⁾北大；⁴⁾総研大）</p> <p>P-32 ダイズに感染性のある<i>Phomopsis longicolla</i> Hobbsの硝酸塩利用能欠損変異株 ○富岡啓介・川口 章・増中 章・野見山孝司・関口博之・森 伸介・山崎 諒・川崎洋平・片山勝之（西日本農研）</p> <p>P-33 ヒラタケ属新品種のSSRマーカーの開発 ○斎藤輝明・原田慎嗣・大内謙二・稲富聡（ホクト株式会社）</p> <p>P-34 クリタケ遺伝資源の評価と無孢子性形質の遺伝分析 大植慶稀¹⁾・増野和彦²⁾・山田明義¹⁾・○福田正樹¹⁾（¹⁾ 信州大農，²⁾ 長野林総セ）</p> <p>P-35 PDA培地に適したスギヒラタケ菌株の選抜とその培養菌糸の特性 ○辻山駒子（関西菌類談話会）</p> <p>P-36 最適培養条件下における発光菌2種の発光強度の変化 ○寺嶋芳江¹⁾・ダイナ・コラソン・M・リキヤヨ²⁾（¹⁾ 琉球大熱生研；²⁾ イフガオ大）</p> <p>P-37 光ストレス環境下で成育したシイタケのアミノ酸変動 ○菅原冬樹¹⁾・鈴木博美¹⁾・伊藤俊彦²⁾・村口元²⁾（¹⁾ 秋田県林技研セ；²⁾ 秋田県立大）</p> <p>P-38 バカマツタケの生産する香気成分 ○楠田瑞穂・寺下隆夫・上田光宏（大阪府立大）</p> <p>P-39 循環型社会へ向けたきのこ栽培培地基材の検討 ○亀井 健吾¹⁾・柳川 宗一²⁾・楠田瑞穂¹⁾・寺下 隆夫¹⁾・上田 光宏¹⁾（¹⁾ 大阪府立大学；²⁾ やなファーム）</p> <p>P-40 絶滅危惧種キリノミタケの原木栽培 牧野純・中東賢讓・○中澤武（一般財団法人日本きのこ研究所）</p> <p>P-41 In vivo inhibitory effect of gaseous chlorine dioxide against <i>Diaporthe batatas</i> isolated from sweetpotato (<i>Ipomoea batatas</i> L.) Y. J. Lee¹⁾・Hyeon-Ji Moon¹⁾・Jin-Ju Jeong¹⁾・Hyunjung Jin²⁾・Wook Kim²⁾・○Ki Deok Kim¹⁾（¹⁾ Laboratory of Plant Disease and Biocontrol；²⁾ Department of Biosystems and Biotechnology, College of Life Sciences and Biotechnology, Korea University）</p> <p>P-42 Genomic repertoire for degradation of polycyclic aromatic hydrocarbons by a wood-decay fungus, <i>Dentipellis</i> sp. KUC8613 ○Hongjae Park・Byoungnam Min・In-Geol Choi (Department of Biotechnology, College of Life Sciences and Biotechnology, Korea University)</p> <p>P-43 Purple spot caused by <i>Stemphylium vesicarium</i> on asparagus in Korea J.-H. Han・○K. S. Kim (Division of Bioresource Sciences, Kangwon National University)</p> <p>P-44 Phylogenetic status of an undescribed <i>Pestalotiopsis</i> species isolated from insect and freshwater samples in Korea ○S.W. Park・H.B. Lee (Division of Food Technology, Biotechnology & Agrochemistry, College of Agriculture & Life Sciences, Chonnam National University)</p> <p>P-45 New species of <i>Avachytrium</i> and <i>Gorgonomyces</i> belonging to Chytridiomycetes in Korea ○S.J. Jeon・H.B. Lee (Division of Food Technology, Biotechnology & Agrochemistry, College of Agriculture & Life Sciences, Chonnam National University)</p> <p>P-46 Diversity of <i>Talaromyces</i> species from freshwater and tideland in Korea ○H.J. Lim¹⁾・S.Y. Cho¹⁾・H.S Park¹⁾・J. Houbraken²⁾・H.B. Lee¹⁾（¹⁾ Division of Food Technology, Biotechnology and Agrochemistry, College of Agriculture and Life Sciences, Chonnam National University；²⁾ Westerdijk Fungal Biodiversity Institute, the Netherlands）</p>

5月27日（日）午前・午後 信州大学農学部 講義棟

時刻	講演内容		
	一般ポスター会場		
10 : 45	<p>P-47 The putative origin and dynamic host expansion of grape downy mildew <i>Plasmopara viticola</i> ○B. R. Kim・J. S. Lee・Y. J. Choi (Department of Biology, Kunsan National University)</p> <p>P-48 Identification of genes involved in dye degradation in <i>Schizophyllum commune</i> ○Y. J. Choi・B. Gu・J. Choi (Division of Life Sciences, College of Life Sciences and Bioengineering, Incheon National University)</p> <p>P-49 Combination treatment for growth promotion and anthracnose reduction on pepper under greenhouse conditions using rhizosphere associated bacteria ○Mahesh Adhikari・Sun Kumar Gurung・Hyun Gu Lee・Gwon Byeong Heon・Ju Han Jun・San Kosol・Setu Bazie・Youn Su Lee (Division of Biological Resource Sciences, Kangwon National University)</p> <p>P-50 Assessment of plant growth-promoting rhizobacteria for biological control of gray leaf spot causing fungi <i>Stemphylium lycopersici</i> ○Sun Kumar Gurung・Mahesh Adhikari・Hyun Gu Lee・Setu Bazie・San Kosol・Ju Han Jun・Gwon Byeong Heon・Youn Su Lee (Division of Biological Resource Sciences, Kangwon National University)</p> <p>P-51 Biocontrol of oak wilt disease by tree injection of antifungal <i>Streptomyces blastmyceticus</i> culture suspension J.-H. Lee¹・S.-T. Seo²・S.K. Lee²・J.K. Lee³ (¹Gyeonggi-Do Forest Environment Research Institute; ²National Institute of Forest Science; ³Kangwon National Univ.)</p> <p>P-52 Diversity and distribution of wood decay fungi in Korea N.K. Kim¹・S.K. Lee²・S.-T. Seo²・J.K. Lee³ (¹Korea National Arboretum; ²National Institute of Forest Science; ³Kangwon National Univ.)</p> <p>P-53 First record of <i>Puccinia klugkistiana</i> on <i>Ligustrum japonicum</i> as aecial host and <i>Cleistogenes hackelii</i> as telial host in Korea S.-T. Seo¹・S.K. Lee¹・S.-H. Lee¹・J.-Y. Kim²・H.-D. Shin² (¹National Institute of Forest Science; ²Korea Univ.)</p> <p>P-54 Screening and evaluation of <i>Streptomyces</i> species as a potential biocontrol agent against a wood decay fungus, <i>Gloeophyllum trabeum</i> N.K. Kim¹・○K.T. Lee²・S.K. Lee²・J.K. Lee³ (¹Korea National Arboretum; ²National Institute of Forest Science; ³Kangwon National Univ.)</p>		
12 : 15	(昼食)		
	A 会場	B 会場	C 会場
	(座長：清水 公德)	(座長：根田 仁)	(座長：白水 貴)
13 : 00	A-11 <i>Bipolaris maydis</i> のアラビノース存在下と糖欠乏下における分散器官への資源分配 ○吉田裕史・田中千尋 (京都大院農)	B-11 福島県内における野生きのこの放射性セシウム濃度の動向(2017) ○広井勝 ¹ ・影山志保 ¹ ・桧垣正吾 ² ・保坂健太郎 ³ ・後藤康彦 ⁴ (¹ 郡山女子大; ² 東大RIセ; ³ 国立科博; ⁴ 菌類懇話会)	C-11 日本新産種 <i>Pyrenopeziza protrusa</i> と <i>P. nervicola</i> (ビョウタケ目ヘソタケ科) ○板垣ひより ¹ ・細矢剛 ² (¹ 東京大院; ² 国立科学博物館)
13 : 15	A-12 <i>Bipolaris maydis</i> におけるCrz1遺伝子破壊株が分泌する生育阻害物質について ○尾上 魁・住田卓也・北出雄生・吉田裕史・宮下正弘・宮川 恒・田中千尋 (京大院農)	B-12 東京都,千葉県などの野生きのこに含まれる放射性セシウム濃度 ○後藤康彦 ¹ ・桧垣正吾 ² ・保坂健太郎 ³ ・広井勝 ⁴ ・野村貴美 ⁵ (¹ 菌類懇話会; ² 東大RIC; ³ 国立科博; ⁴ 郡山女子大; ⁵ 明大)	C-12 欧州産 <i>Mollisia</i> と日本産菌株の分子系統学的解析 ○細矢 剛・南 京沃 (科博・植物)

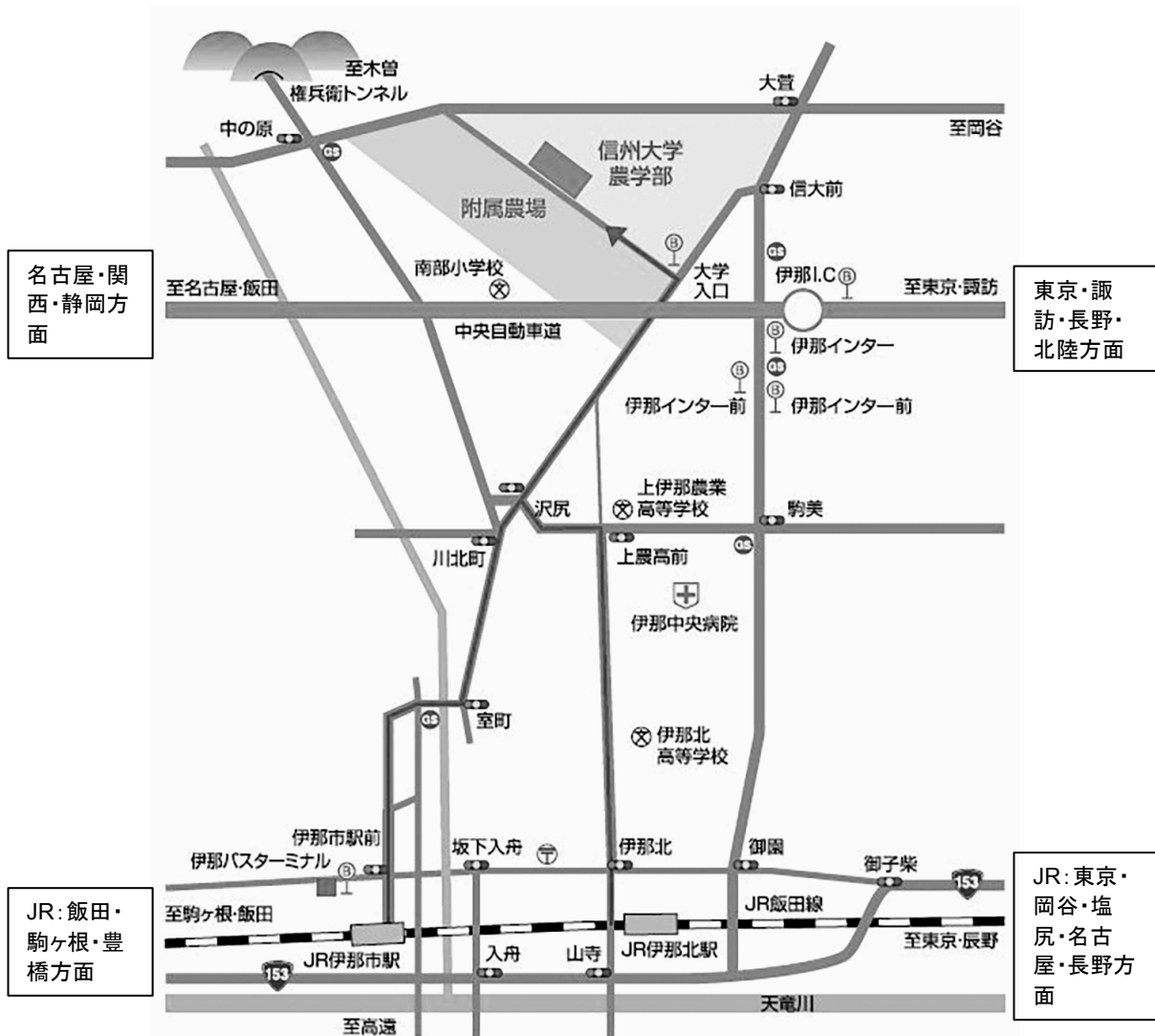
5月27日（日）午後 信州大学農学部 講義棟

時刻	講演内容		
	A 会場	B 会場	C 会場
13:30	A-13 アーバスキュラー菌根菌の成長における脂肪酸の利用性 ○杉浦優太・齋藤勝晴（信州大）	B-13 <i>Pleurotus ostreatus</i> によるクズの魚類用飼料への変換 ○樽林俊樹 ¹ ・井本篤志 ¹ ・杉浦省三 ¹ ・泉津弘佑 ¹ ・鈴木一実 ¹ ・入江俊一 ¹ （ ¹ 滋賀県大環）	C-13 背着生子実体を形成するチャワントケ目菌 <i>Karstenella vernalis</i> の国内初記録 ○大前宗之 ¹ ・中島稔 ² ・折原貴道 ³ （ ¹ （株）北研； ² 神奈川県キノコの会； ³ 神奈川県博）
	(座長：小林 久泰)	(座長：増野 和彦)	(座長：保坂 健太郎)
13:45	A-14 水辺の材上に分生子柄束様構造を形成する担子菌の分類と生態 ○志野遼太郎 ¹ ・早乙女梢 ² ・前川二太郎 ² ・遠藤直樹 ² ・中桐昭 ² （ ¹ 鳥取大院持続社会； ² 鳥取大農）	B-14 バイリングおよびエノキタケのAおよびB因子突然変異体の作出 ○阿藤伸弥 ¹ ・芳川 諒 ² ・山本秀樹 ² ・福田正樹 ¹ （ ¹ 信大農； ² 長野野菜花き）	C-14 日本初記録となる <i>Leucoscypha</i> 属（チャワントケ目ピロネマキン科）について ○細野天智 ¹ ・升本宙 ² ・大前宗之 ³ ・山本航平 ⁴ ・折原貴道 ⁵ ・出川洋介 ² （ ¹ 宇都宮大農； ² 筑波大菅平； ³ （株）北研； ⁴ 栃木県博； ⁵ 神奈川県博）
14:00	A-15 担子菌地衣類シラウオタケ (<i>Multiclavula mucida</i>) の共生藻について ○升本宙・出川洋介（筑波大菅平）	B-15 抗生物質ホルミシスがスエヒロタケのエタノール生産に及ぼす効果の検討 ○小池歩・吉田佳奈子・千菊夫（信州大農）	C-15 イボセイヨウシヨウロの分類学的再検討 ○木下晃彦 ¹ ・奈良一秀 ² ・佐々木廣海 ³ ・Feng Bang ⁴ ・小長谷啓介 ¹ ・Zhu L. Yang ⁴ ・山中高史 ¹ （ ¹ 森林総研； ² 東大新領域； ³ 菌類懇話会； ⁴ 中国科学院）
14:15	A-16 自生地のリターを用いたクロヤツシロランの発芽誘導と実生からの共生菌単離 ○島崎茜 ¹ ・檜垣佳奈 ¹ ・蘭光健人 ¹ ・山下由美 ² ・遊川知久 ² ・辻田有紀 ¹ （ ¹ 佐賀大農； ² 国立科博）	B-16 アグロバクテリウムを用いたスエヒロタケ (<i>Schizophyllum commune</i>) およびウシグソヒトヨタケ (<i>Coprinopsis cinerea</i>) の形質転換 ○吉田佳奈子 ¹ ・須貝友紀 ¹ ・山口美咲 ¹ ・下坂誠 ² ・千菊夫 ¹ （ ¹ 信州大農； ² 信州大繊維）	C-16 ヒメレンゲゴケとナミガタウメノキゴケを構成する菌類の解明 ○小竹ひとみ ¹ ・原田浩 ² ・坂田歩美 ² ・吹春俊光 ² ・折原貴道 ³ ・清水公德 ¹ （ ¹ 東京理科大生物工； ² 千葉県中央博； ³ 神奈川県博）
			(座長：山本 航平)
14:30	A-17 外生菌根菌と宿主樹木の共遺存：ハイマツ林をモデルとして ○小泉敬彦・奈良一秀（東大院新領域）	B-17 RAD-seq法によるシイタケゲノム配列の整列化 ○坂本裕一 ¹ ・加藤珠理 ² ・佐藤志穂 ² ・村口元 ³ ・宮崎和弘 ² （ ¹ 岩手生工研； ² 森林総研； ³ 秋田県立大）	C-17 蘚類寄生菌 <i>Eocronartium muscicola</i> の遺伝的多様性 ○渡部彩香 ¹ ・岡根泉 ¹ ・出川洋介 ¹ ・沈偉強 ² ・山岡裕一 ¹ （ ¹ 筑波大生命； ² 台湾大植微）

5月27日（日）午後 信州大学農学部 講義棟

時刻	講演内容		
	A 会場 (座長：遠藤 直樹)	B 会場 (座長：齋藤 勝晴)	C 会場
14 : 45	A-18 菌根菌および腐生菌の鉱物を可溶化する能力の評価 ○小河澄香 ¹⁾ ・赤間慶子 ¹⁾ ・山中高史 ¹⁾ ・春間俊克 ²⁾ ・山路恵子 ²⁾ (¹⁾ 森林研究・整備機構； ²⁾ 筑波大)	B-18 子囊菌門における地衣化現象とポリオール輸送体遺伝子との関係 ○吉野花奈美 ¹⁾ ・山本航平 ²⁾ ・園田雅俊 ¹⁾ ・山本好和 ³⁾ ・坂本一憲 ¹⁾ (¹⁾ 千葉大院園芸； ²⁾ 栃木県博； ³⁾ 秋田県立大学)	C-18 日本産ミクロボトリウム科菌類の分類学的検討と分離培養 ○田中栄爾(石川県立大)
15 : 00	A-19 バカマツタケ <i>Tricholoma bakamatsutake</i> の林地接種によるシロ形成と子実体発生 ○河合昌孝 ¹⁾ ・今治安弥 ¹⁾ ・山田明義 ²⁾ ・木下晃彦 ³⁾ (¹⁾ 奈良森技セ； ²⁾ 信州大学； ³⁾ 森林総研)	B-19 冬虫夏草セミノハリセンボンのゲノム解読及び比較解析 ○田村友和 ¹⁾ ・田中千尋 ²⁾ ・清水公德 ¹⁾ (¹⁾ 東京理科大生物工； ²⁾ 京大院農)	C-19 異担子菌類のアナモルフの多様性とその分類学的・生態的意義 ○砂川直徹・遠藤直樹・早乙女梢・前川二太郎・中桐昭(鳥取大農)
15 : 15	A-20 キノコの匂いの生態学的機能 ○北林慶子・都野展子(金沢大自然科学)	B-20 トウモロコシごま葉枯病菌のCore septinは正常な子嚢胞子形成に必須である ○北出雄生 ¹⁾ ・住田卓也 ¹⁾ ・泉津弘佑 ²⁾ ・田中千尋 ¹⁾ (¹⁾ 京大院農； ²⁾ 滋賀県大環境科学)	C-20 日本産“ <i>Auricularia auricula-judae</i> ”および“ <i>A. polytricha</i> ”の分子系統解析と形態比較に基づく分類学的検討 ○白水貴 ¹⁾ ・稲葉重樹 ²⁾ ・牛島秀爾 ³⁾ ・奥田康仁 ³⁾ ・長澤栄史 ³⁾ (¹⁾ 三重大； ²⁾ NBRC； ³⁾ 菌茸研)
15 : 30	A-21 日本のキノコシロアリが育てるもう1種のオオシロアリタケ属きのこ ○北條優 ¹⁾ ・保坂健太郎 ²⁾ ・重信秀治 ³⁾ (¹⁾ 琉球大； ²⁾ 科博； ³⁾ 基生研)		
16 : 00			・学生会員優秀口頭発表賞表彰式・閉会式

信州大学 伊那キャンパス（農学部）までの交通経路



名古屋・関西・静岡方面

東京・諏訪・長野・北陸方面

JR: 飯田・駒ヶ根・豊橋方面

JR: 東京・岡谷・塩尻・名古屋・長野方面

○中央高速バス利用の場合
東京(新宿高速バスターミナル pasta新宿)から

- ① 伊那線(駒ヶ根行)に乗りし、バス停「伊那インター前」で下車(約3時間10分)。バス停から伊那インター方向に進んで中央道の下をくぐり、その先約300mの信大前交差点を左折すると約120mで農学部正門です。正門から約400m進むと講義棟・管理棟があります(徒歩約15分)。
- ② 飯田線(飯田行)に乗りし、バス停「中央道伊那インター」で下車(約3時間10分)。バス停の階段をおりて中央道の下をくぐり、その先約300mの信大前交差点を左折すると約120mで農学部正門です。正門から約400m進むと講義棟・管理棟があります(徒歩約15分)。

名古屋(名鉄バスセンター)から

伊那線(伊那・箕輪行)に乗りし、バス停「伊那インター前」で下車(約3時間10分)。バス停から伊那インター方向に進んで中央道の下をくぐり、その先約300mの信大前交差点を左折すると約120mで農学部正門です。正門から約400m進むと講義棟・管理棟があります(徒歩約15分)。

○JR利用の場合

路線バス: JR飯田線伊那市駅を出て、伊那市駅前交差点を左折すると伊那バスターミナル(停留所名は「伊那営業所」)があります。ここで「西箕輪線」に乗り(17分)し、「大学入口」で下車。バス停の横にある農学部正門に入って徒歩約5分(400m)で講義棟・管理棟があります。

タクシー: JR飯田線伊那市駅または伊那北駅からタクシー乗車(約10分)

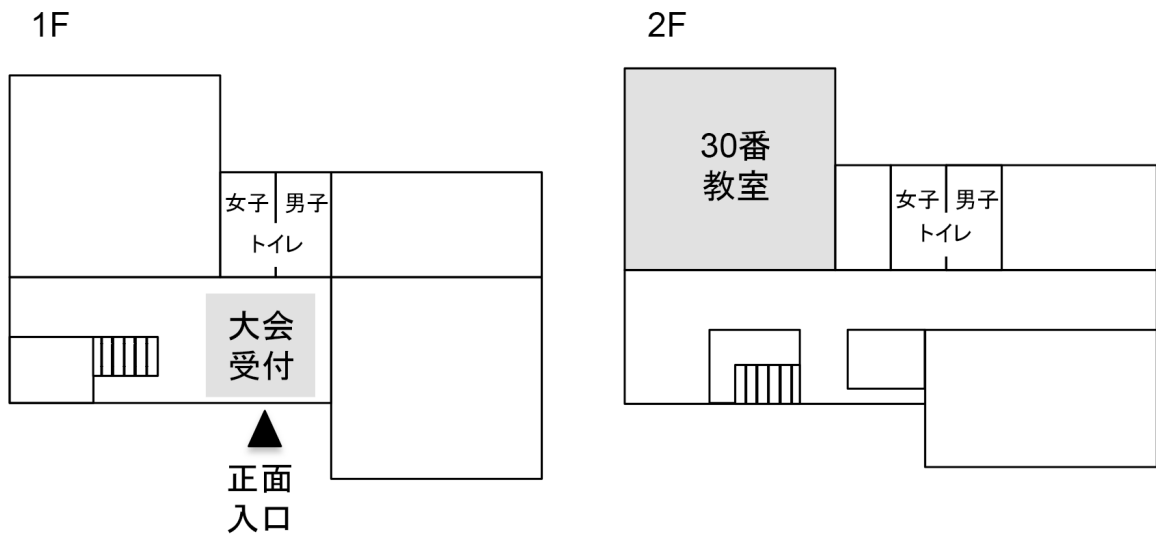
○自家用車利用の場合

中央道伊那インターを出て、インター正面の交差点を右折。その先約500mの信大前交差点を左折すると約120mで農学部正門があります。正門から約400m進んだ左側に駐車場があります。

信州大学 伊那キャンパス（農学部）マップ

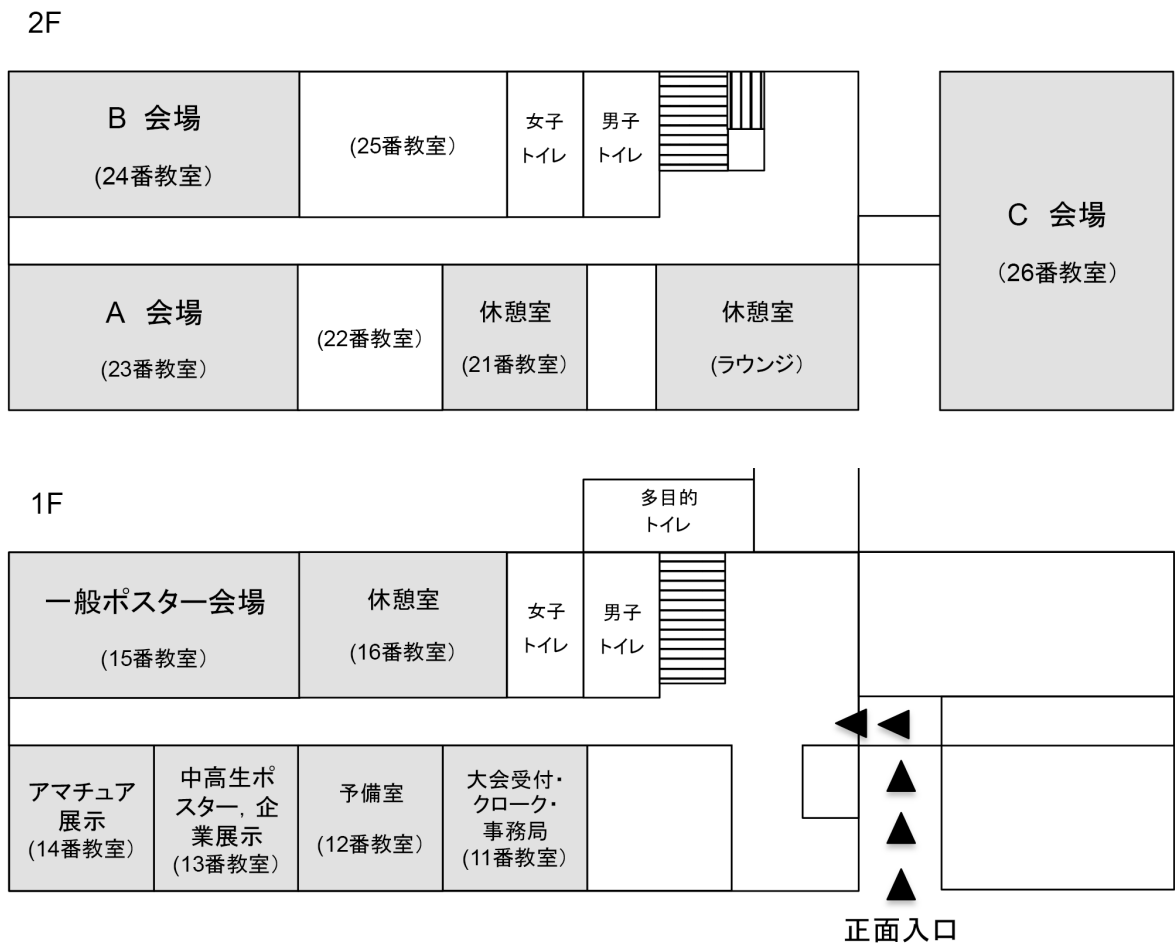


農学部 F 棟 (総合実験実習棟)



注：F 棟での大会受付は、26 日（土）午前中のみです。26 日午後からは、講義棟をお願いします。

農学部 講義棟



注：講義棟での大会受付は、26 日（土）午後からです。26 日午前中は、F 棟をお願いします。

会場シャトルバス運行について

信州大学伊那キャンパス（農学部）は、伊那市街から約 5 km 離れた場所に位置します。アクセスの充実を図るため、大会期間中（5 月 26 日～27 日）の朝、伊那市街と伊那キャンパスの間を直行で結ぶ無料の送迎バスを運行します。

JR 伊那市駅前 (始発)	JR 伊那北駅前	ホテルルートイン コート伊那	伊那インター前 バス停	信州大伊那キャンパス 講義棟前
7:30	7:35	7:45	7:55	8:00
8:15	8:20	8:30	8:40	8:45

注：バスは 50 人乗りです。混雑も予想されますのでご注意ください。

ホテルルートインコート伊那付近バス乗り場



備考：路線バス（伊那バス）の運行時刻

伊那営業所発 → 大学入口着	伊那営業所発 → 大学入口着	大学入口発 → 伊那営業所着	大学入口発 → 伊那営業所着
△7:55 → △8:12	15:10 → 15:27	△7:14 → △7:31	△13:14 → △13:31
8:50 → 9:07	△16:55 → △17:12	△8:09 → △8:26	14:39 → 14:56
11:25 → 11:42	18:05 → 18:22	△8:39 → △8:56	16:04 → 16:21
△12:30 → △12:47	△19:35 → △19:57	9:44 → 10:01	△17:39 → △17:56
13:45 → 14:02		12:19 → 12:36	18:59 → 19:16

- ・伊那営業所バス停（伊那バスターミナル）は、JR 伊那市駅から西南西方向に 50m ほどです。
- ・伊那営業所ー大学入口：片道 290 円
- ・△5 月 27 日（日）運休

信州大学伊那キャンパス付近 交通地図



高速バスの停留所

始発地／目的地	降車	乗車
新宿 (飯田発着便)	3	4
新宿 (駒ヶ根発着便)	1	2
名古屋, 大阪	2	1
横浜, 長野, 立川	3	4

*中央道伊那インターバス停は高速道路上にあります。バス停に向かう取り付け歩道は、ガード下から分岐しています (図中●印)。

懇親会会場



信州 INA セミナーハウス <http://www.seminarhouse.jp/eastarena/>
〒396-0111 長野県伊那市みすず 9620 TEL.0265-73-8811 FAX.0265-73-8813

農学部－伊那セミナーハウス間は、直行の送迎バスを往復運行します。